

令和5年度 事業報告書

(期間：令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)

社会福祉法人 明石市社会福祉協議会

社会福祉法人 明石市社会福祉協議会

令和5年度 事業報告

令和5年度 事業報告

■ 社会福祉事業区分

I 法人運営事業拠点区分	6頁
II 地域・ボランティア活動事業拠点区分	18頁
III 共同募金配分金事業等拠点区分	30頁
IV 介護保険事業等拠点区分	36頁
V 基幹相談支援センター拠点区分	38頁
VI 後見支援センター拠点区分	44頁
VII 地域活動支援センター事業拠点区分	50頁

■ 公益事業区分

I 総合福祉センター管理運営事業拠点区分	54頁
II 総合福祉センター新館管理運営事業拠点区分	58頁
III 地域総合支援センター事業拠点区分	62頁



マークの記載がある事業は、共同募金の配分金を活用して実施した事業です。

令和5年度 重要事業の取り組み

1. 地域での見守り訪問活動の充実

4月より新たにスタートした安否確認事業において、75歳以上のひとり暮らし高齢者に対する、月1回の家庭訪問による安否確認を行うとともに、訪問した際に伺った相談については、該当する相談機関などに橋渡しを行い、利用者の生活支援の一部を担いました。家庭訪問を担う「見守りサポーター」も徐々に周知され、ひとり暮らし高齢者や民生児童委員から訪問中にお声掛けされ、相談を受ける機会も増え、新たな見守り資源の一つとして定着に向けた活動を進めています。

またパイロット事業として、支援の必要がある世帯に対して見守りサポーターが月1回、家庭訪問を行い世帯の状況を確認するとともに、訪問時の状況を関係機関と共有することで、見守り体制の構築を図りました。

2. 地域共生社会実現のための重層的支援体制整備事業の推進

生活のしづらさを抱えた人や複合的な問題を抱える世帯等の相談を多機関協働事業者である地域総合支援センター本部で受け付け、事例の整理や役割分担、支援方針等について関係機関と協議し、継続的な支援を実施しました。

本会内部や関係機関と一体的に取り組めるよう、ネットワーク会議を開催し、事業の理解に向けて働きかけました。重層的支援体制整備事業としてのアウトリーチや参加支援の位置づけについて、すでに地域総合支援センターで実施しているアウトリーチや社会参加の取り組みと合わせて、どのように行うかを市と協議しました。

3. 終活や死後事務に関する相談支援体制の構築

高齢化や核家族化の進展に伴い、身寄りがなく、身内との関係が希薄で頼れない人が増加し、いわゆる終活に関わる問題が社会的な課題となっています。本課題の解決を図ることを目的として、後見支援センターに専門の相談窓口を設置し、終活に関する相談や情報提供を行いました。また、死後事務契約などのより専門的な相談にも応じられるように、弁護士、司法書士による終活に関する無料の相談会（第1～3火曜日の13時30分から15時00分まで）を定期的に開催しました。

4. 生活困窮者支援に関する支援の構築

新型コロナウイルス特例貸付をはじめ、生活福祉資金の償還が困難な世帯に対して償還免除や償還に係る相談支援を行うとともに、新型コロナウイルス特例貸付を利用した方を対象にアンケートを実施しました。アンケート結果の分析等を行い、生活困窮者支援事業について検討を行いました。

法人単位資金収支計算書
(自)令和5年4月1日(至)令和6年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収入	収入				
	会費収入	12,183,000	10,891,107	1,291,893	
	寄附金収入	51,650,000	51,831,115	△ 181,115	
	経常経費補助金収入	174,159,000	165,399,749	8,759,251	
	受託金収入	285,434,000	267,603,254	17,830,746	
	貸付事業収入	16,307,000	13,119,926	3,187,074	
	事業収入	2,185,000	906,970	1,278,030	
	介護保険事業収入	681,751,000	617,109,341	64,641,659	
	障害福祉サービス等事業収入	25,025,000	23,393,153	1,631,847	
	受取利息配当金収入	14,000	3,931	10,069	
	その他の収入	755,000	1,163,852	△ 408,852	
	事業活動収入計(1)	1,249,463,000	1,151,422,398	98,040,602	
	事業活動による支出	支出			
人件費支出		923,360,468	845,890,042	77,470,426	
事業費支出		144,689,243	134,754,052	9,935,191	
事務費支出		97,311,408	83,176,076	14,135,332	
貸付事業支出		6,000,000	4,436,000	1,564,000	
助成金支出		33,763,000	25,272,846	8,490,154	
事業活動支出計(2)	1,205,124,119	1,093,529,016	111,595,103		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	44,338,881	57,893,382	△ 13,554,501		
施設整備等による収入	収入				
	固定資産売却収入	0	44,840	△ 44,840	
	施設整備等収入計(4)	0	44,840	△ 44,840	
	支出	固定資産取得支出	14,209,000	13,424,614	784,386
		固定資産除却・廃棄支出	61,000	38,500	22,500
ファイナンス・リース債務の返済支出		4,249,000	3,791,040	457,960	
施設整備等支出計(5)	18,519,000	17,254,154	1,264,846		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 18,519,000	△ 17,209,314	△ 1,309,686		
その他の活動による収入	収入				
	長期運営資金借入金収入	5,000,000	5,000,000	0	
	積立資産取崩収入	22,611,000	22,460,697	150,303	
	その他の活動収入計(7)	27,611,000	27,460,697	150,303	
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	5,000,000	5,000,000	0
		積立資産支出	68,148,881	65,348,379	2,800,502
		その他の活動による支出	400,000	393,100	6,900
		その他の活動支出計(8)	73,548,881	70,741,479	2,807,402
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 45,937,881	△ 43,280,782	△ 2,657,099		
予備費支出(10)	100,000	—	100,000		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 20,218,000	△ 2,596,714	△ 17,621,286		
前期末支払資金残高(12)	140,825,000	129,571,146	11,253,854		
当期末支払資金残高(11)+(12)	120,607,000	126,974,432	△ 6,367,432		

■ 社会福祉事業区分

I 法人運営事業拠点区分

1 法人運営事業

複雑・多様化する生活課題に対応できるよう法人運営体制の強化、職員のスキルアップ等に努めました。

1) 組織運営

令和5年6月の役員の一斉改選にあたっては、理事会の機能がスムーズに継続されるよう新役員に対して丁寧な説明を行いました。また理事会・評議員会・各種委員会等を通じて、各選出団体の代表である役員からの意見聴取を行い、本会の各事業の検証や改善に努めました。

【理事会・監事監査】

会議名	開催日等	主な議案	出席人数
監事監査	5月29日	・令和4年度事業報告及び決算監査 他	監事3名
第37回理事会	6月7日	・令和4年度事業報告・決算 ・理事及び評議員候補者の推薦 ・諸規程の改正 ・第25回定時評議員会の開催通知	理事10名 監事2名
第38回理事会	6月27日	・理事長の選定 ・副理事長及び常務理事の選定 ・評議員選任・解任委員の選任	理事10名 監事3名
第39回理事会	10月18日	・令和5年度補正予算 ・運営規程の一部改正 ・評議員候補者の推薦 ・第26回評議員会の開催通知	理事11名 監事3名
第40回理事会 (書面決議)	提案日 11月27日 議決日 12月13日	・令和5年度第2次補正予算 ・第27回評議員会(書面決議)の開催 通知	全理事12名 の同意 全監事3名 の異議無の 回答

第41回理事会	3月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度第3次補正予算 ・ 令和6年度事業計画 ・ 令和6年度当初予算 ・ 運営規程の一部改正 ・ 理事長専決額を超える契約 ・ 生活福祉資金に係る運営資金の借入 ・ 役員等賠償責任保険契約の締結 ・ 第28回評議員会の開催通知 	理事10名 監事3名
第42回理事会 (書面決議)	提案日 3月26日 議決日 3月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 理事長専決額を超える契約 ・ 職員就業規程の一部改正 	全理事 12名 の同意 全監事 3名 の異議無の 回答

【評議員会】

会 議 名	開催日等	主 な 議 案	出席人数
第25回評議員会 (定時評議員会)	6月27日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年事業報告・決算 ・ 次期役員を選任 	評議員17名 理事3名 監事1名
第26回評議員会	11月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度補正予算 	評議員14名 理事4名
第27回評議員会 (書面決議)	提案日 12月18日 議決日 12月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度第2次補正予算 	全評議員 20名の同意
第28回評議員会	3月25日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和5年度第3次補正予算 ・ 令和6年度事業計画・当初予算 	評議員17名 理事4名

【評議員選任・解任委員会】

委員会名	開催日等	主な議案	出席人数
評議員選任・ 解任委員会 (書面決議)	提案日 6月13日 議決日 6月16日	・評議員の選任	5名全員の同意
	提案日 10月23日 議決日 10月30日	・評議員の選任	5名全員の同意

【各種委員会】

委員会名	開催日等	主な議案	出席人数
企画財政総務 委員会	2月29日	・令和6年度事業計画・当初予算 ・第41回理事会提出議案	6名
募金等配分検 討委員会	2月21日	・委員長・副委員長の選任 ・赤い羽根共同募金及び善意銀行公 募配分事業審査	5名
地域・ボランティア 活動委員会	3月5日	・委員長、副委員長の選任 ・地域福祉活動の取り組み ・令和5年度赤い羽根共同募金運動 ・令和6年度地域支援課事業計画	7名

2) 規程等の改正

規程名	改正内容	会議名・施行日
・職員就業規程	優秀な人材を確保する観点から、 1年以上在籍する無期及び有期雇 用契約職員については、採用試験 の一部を免除するもの	第37回理事会 令和5年7月1日

<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定居宅介護支援事業運営規程 ・ 地域総合支援センター(指定介護予防支援事業及び第1号介護予防支援事業)運営規程 	厚生労働省令の改定により ①虐待の防止の措置 ②業務継続計画の策定 ③感染症対策の強化 令和6年4月1日より義務化されることから一部改正するもの	第39回理事会 令和6年4月1日
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事務処理規定 	地域支援課の体制について見直しを行い、より効果的な業務の推進を図るもの	第41回理事会 令和6年4月1日
<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定特定相談支援事業運営規程 ・ 基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センター運営規程 ・ 相談支援事業所運営規程 	厚生労働省令の改定により ①業務継続計画の策定 ②感染症対策の強化 令和6年4月1日より義務化されることから一部改正するもの	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員就業規程 	明石市職員の再任用に関する条例が廃止されていることに伴い、規程を一部改正するもの	第42回理事会 令和6年4月1日

3) 社協会員募集

住民や福祉団体等に対して、普通会費・特別賛助会費・施設団体会費への協力を依頼し、本会及び地区社会福祉協議会（以下、「地区社協」といいます。）の活動に必要な自主財源の確保に努めました。

また、会費の使いみちや本会の取り組みを皆様に理解していただけるよう、地域で行われる会議において説明を行うとともに、広報紙「あかしの社会福祉」による広報活動を行いました。

【会費実績】

普通会費 (120円/世帯)	特別賛助会費 (2,000円/口)	施設団体会費 (5,000円/口)	合 計
9,234,457円	965,550円	691,100円	10,891,107円

4) 人事労務・人材育成

本会職員が中心となった組織体制の構築に向け、採用試験や研修、適切な職員配置を実施し、人事管理や人材育成に努めました。

【在職職員数】 (令和6年3月31日現在)

正規	市派遣	嘱託	契約	出向	合計
82名	11名	7名	62名	1名	163名

5) 広報啓発

本会が取り組む活動内容や地域福祉に関する理解を得ることができるよう、広報紙やホームページで啓発に努めました。

6) 公益的取り組みの推進

社会福祉法人連絡協議会への参画を通じて、地域貢献事業や地域福祉活動の推進に取り組んだほか、フードドライブ事業、明石市保護司会の事務局支援等を実施しました。

① 社会福祉法人連絡協議会の運営

地域貢献及び地域福祉の推進を目的とする協議体として、市内に所在する社会福祉法人・施設が分野の垣根を越えた情報交換について協議を進めました。

また、能登半島地震に対する義援金の募集活動を行いました。

【加盟数】 市内28法人（47施設）

【運営会議等】

会議等	開催日	内容
役員会（第1回）	6月23日	令和5年度事業について
代表者等連絡会（第1回）	8月7日	県内他市町の取組実践報告
役員会（第2回）	11月17日	総会、令和6年度の取組について
能登半島地震 義援金募金箱設置	1月15日～ 2月29日	加盟法人・施設での募金箱設置 9法人（19施設、247,595円）
能登半島地震 義援金募集街頭募金	1月26日	4法人（10名、103,168円）
総会（書面）	2月14日	令和4年度事業・決算報告 令和5年度事業・予算計画
代表者等連絡会（第2回）	2月16日	県内他市町の取組実践報告、意見交換

② フードドライブの実施

生活協同組合コープこうべ、KOHYO明舞店(旧ピーコックストア明舞店)を中心に、企業、市民から寄付された食料品を、生活支援として生活困窮世帯等に配分しました。

また、フードロスの削減を目的とした譲渡会では、生活協同組合コープこうべの市内6店舗を中心に集められた各家庭の余剰食品を、地域のサロン・福祉団体・事業所等に配分しました。

【本会が直接払出を行った実績】

対 象	回 数
世帯・個人・福祉事業所 等	239回

【譲渡会の実績（生活協同組合コープこうべと協働実施）】

実施月	重 量	前日 ボランティア	主な配布食材	配 布 先 (施設・団体・ 世帯 など)
9月	834.3kg	5名	米、調味料、 レトルト食品等	30件
2月	727.0kg	21名		42件
合計	1561.3kg	26名	—	72件

③ 保護司会事務局支援

明石市立総合福祉センター2階に設置している「あかし更生保護サポートセンター」を活動拠点に更生保護支援活動を行っている明石市保護司会と連携し、「社会を明るくする運動」として、街頭啓発活動、映画上映会の開催に協力しました。また、明石市で開催された「兵庫県更生保護大会」の運営サポートを明石市保護司会と協力して行いました。

2 善意銀行運営事業

市民、企業、団体等から善意の預託（金銭及び物品）の受付を行いました。物品については、これらを必要とする団体や個人へ速やかに配分し、寄付金については、効果的に社会に還元するため、配分事業の公募を行い、募金等配分検討委員会での審査を経て、適正に払い出しました。

また、こどもへの支援を希望される方から玄米を寄贈いただき、保育所等に譲渡を行ったとともに、ワークマンプラス神戸池上店より寄贈された冬物衣類（段ボール9箱分）の譲渡会を開催し、障がい者支援事業所に払出を行いました。

【預託実績】

種 別	件数	内 容	寄 付 目 的 の 内 訳
金 銭	34件	1,196,670円	個人、匿名での定額寄付、企業・地域団体からの寄付等
物 品	130件	食料品、日用品、衣類、衛生用品等	個人や企業からの善意による寄付

【払出実績】

種 別	件 数	内 容	払 出 先
金 銭 (公募)	3件	425,000円	ボランティア団体・当事者団体等
物 品	197件	食料品、日用品、衣類、衛生用品等	ボランティア団体、NPO法人 社会福祉法人、保育施設等

【公募による金銭払出一覧】

団 体 名		払 出 内 容
1	しおさい	10周年記念式典
2	明石市身体障害者福祉協会	交流事業
3	特定非営利活動法人ウィズアス	交流広場の運営

3 資金貸付事業

県社協及び明石市より受託した事業で、低所得者、障がい者及び高齢者に対し、貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立及び生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を構築することを目的に取り組みました。

新型コロナウイルス特例貸付の借受世帯に対し、実態調査を行い、生活困窮者の生活課題の把握に努めました。

コロナ禍において、明石市の補助事業で実施した生活資金貸付事業や学業資金貸付事業の償還事務については、借受住民・世帯の生活状況に配慮しながら、返済猶予等の事務を行いました。

【県社協からの受託事業】

事業名	申請件数	貸付件数	貸付金額
生活福祉資金貸付事業 ・福祉資金・教育支援資金	25件	24件	32,452,600円
総合支援資金貸付事業	2件	2件	540,000円
臨時特例つなぎ資金	1件	1件	30,000円
緊急小口資金貸付事業	11件	11件	892,000円

【明石市からの受託事業】

事業名	申請件数	貸付件数	貸付金額
生活保護家庭生活福祉資金 貸付事業	316件	316件	4,436,000円

【明石市の補助事業】

事業名	貸付件数 (決定時)	償還中	期限未到来・ 返済猶予
生活資金貸付事業	17件	6件	11件
学業資金貸付事業	122件	92件	30件

(※) 貸付の決定は、令和2年度に行う（令和2年度の事業）

4 新型コロナウイルスワクチン障害者等集団接種支援業務

障がいなどにより一般の会場でのワクチン接種が不安な方などを対象に実施した集団接種について、市からの委託を受けて、接種会場での受付、案内誘導などの業務を行いました。

実施時期	案内件数 ※付添人を含む
令和5年5月・6月	348件

5 その他の取り組み

- ・ 後援名義の許可：9件
- ・ 安全衛生委員会開催：毎月1回開催（産業医による職場巡視、健康教室等）
- ・ 社会福祉士実習生の受入れ

期間：令和5年8月7日～9月20日まで 計24日間 4大学4名
令和6年2月13日～2月29日まで 計8日間 2大学2名

法人運営事業拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
収入	会費収入	12,183,000	10,891,107	1,291,893
	普通会費収入	10,519,000	9,234,457	1,284,543
	特別賛助会費収入	980,000	965,550	14,450
	施設・団体会費収入	684,000	691,100	△ 7,100
	寄附金収入	1,000,000	1,201,670	△ 201,670
	經常経費寄附金収入	1,000,000	1,201,670	△ 201,670
	經常経費補助金収入	140,915,000	137,395,958	3,519,042
	市補助金収入	120,008,000	120,008,000	0
	社協運営事業補助金収入	120,008,000	120,008,000	0
	県社協補助金収入	20,907,000	17,387,958	3,519,042
	生活福祉資金相談体制整備事業補助金収入	6,850,000	6,850,000	0
	生活困窮者支援体制強化事業補助金収入	14,057,000	10,537,958	3,519,042
	受託金収入	1,475,000	1,474,523	477
	市受託金収入	1,122,000	1,122,076	△ 76
	その他の受託金収入	1,122,000	1,122,076	△ 76
	県社協受託金収入	173,000	172,447	553
	生活福祉資金貸付事業受託金収入	173,000	172,447	553
	県民児連受託金収入	120,000	120,000	0
	民生委員顕彰碑管理受託金収入	120,000	120,000	0
	神戸市民協受託金収入	60,000	60,000	0
	民生委員顕彰碑管理受託金収入	60,000	60,000	0
	貸付事業収入	16,307,000	13,119,926	3,187,074
	償還金収入	6,000,000	4,854,600	1,145,400
	償還金収入(市緊急生活支援資金償還金)	10,307,000	8,265,326	2,041,674
	受取利息配当金収入	11,000	2,156	8,844
	その他の収入	609,000	647,040	△ 38,040
	受入研修費収入	285,000	279,600	5,400
雑収入	324,000	367,440	△ 43,440	
雑収入	324,000	367,440	△ 43,440	
事業活動収入計(1)		172,500,000	164,732,380	7,767,620
事業活動による収支	人件費支出	101,245,986	93,362,828	7,883,158
	役員報酬支出	166,000	94,605	71,395
	職員給料支出	61,885,657	58,186,727	3,698,930
	職員給料支出	40,507,000	38,127,287	2,379,713
	嘱託職員給料支出	9,176,226	8,398,969	777,257
	契約職員賃金支出	12,202,431	11,660,471	541,960
	職員賞与支出	19,072,179	17,947,124	1,125,055
	非常勤職員給与支出	40,000	36,936	3,064
	退職給付支出	5,005,000	5,004,070	930
	法定福利費支出	15,077,150	12,093,366	2,983,784
	事業費支出	7,857,000	7,311,904	545,096
	水道光熱費支出	12,000	11,484	516
	消耗器具備品費支出	15,000	13,298	1,702
	車輛費支出	110,000	46,248	63,752
	返還金支出	7,455,000	7,056,012	398,988
	諸謝金支出	89,000	15,582	73,418
	旅費交通費支出	176,000	169,280	6,720
	事務費支出	48,370,014	41,724,668	6,645,346
	福利厚生費支出	1,196,000	1,014,850	181,150
	旅費交通費支出	331,100	87,715	243,385
	研修研究費支出	684,000	432,000	252,000
事務消耗品費支出	7,112,807	6,915,652	197,155	
印刷製本費支出	86,000	85,800	200	
水道光熱費支出	1,697,000	1,177,163	519,837	
修繕費支出	2,439,500	2,434,850	4,650	
支出				

		通信運搬費支出	1,829,116	1,153,026	676,090
		会議費支出	15,000	8,398	6,602
		広報費支出	190,000	110,000	80,000
		業務委託費支出	2,934,000	2,794,720	139,280
		手数料支出	760,211	335,407	424,804
		保険料支出	162,000	142,640	19,360
		賃借料支出	1,098,280	840,900	257,380
		租税公課支出	25,900,000	22,405,341	3,494,659
		渉外費支出	100,000	80,000	20,000
		諸会費支出	1,825,000	1,696,900	128,100
		雑支出	10,000	9,306	694
		雑支出	10,000	9,306	694
		貸付事業支出	6,000,000	4,436,000	1,564,000
		貸付金支出	6,000,000	4,436,000	1,564,000
		助成金支出	7,227,000	4,558,090	2,668,910
		助成金支出	7,227,000	4,558,090	2,668,910
		助成金支出	7,227,000	4,558,090	2,668,910
		事業活動支出計(2)	170,700,000	151,393,490	19,306,510
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,800,000	13,338,890	△ 11,538,890
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	0	15,840	△ 15,840
		車輛運搬具売却収入	0	15,840	△ 15,840
		施設整備等収入計(4)	0	15,840	△ 15,840
	支出	固定資産取得支出	8,996,000	8,923,332	72,668
		車輛運搬具取得支出	331,000	330,660	340
		器具及び備品取得支出	8,665,000	8,592,672	72,328
		固定資産除却・廃棄支出	22,000	0	22,000
		器具及び備品除却・廃棄支出	22,000	0	22,000
		ファイナンス・リース債務の返済支出	2,989,000	2,579,280	409,720
			施設整備等支出計(5)	12,007,000	11,502,612
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 12,007,000	△ 11,486,772	△ 520,228
その他の活動による収支	収入	長期運営資金借入金収入	5,000,000	5,000,000	0
		事業区分間繰入金収入	0	211,070	△ 211,070
		その他の活動収入計(7)	5,000,000	5,211,070	△ 211,070
	支出	長期運営資金借入金元金償還支出	5,000,000	5,000,000	0
		積立資産支出	2,354,000	1,591,945	762,055
		退職給付引当資産支出	2,353,000	1,591,445	761,555
		社会福祉財政調整基金積立資産支出	1,000	500	500
		拠点区分間繰入金支出	2,524,000	2,157,901	366,099
		その他の活動による支出	380,000	380,000	0
		差入保証金支出	380,000	380,000	0
		その他の活動支出計(8)	10,258,000	9,129,846	1,128,154
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 5,258,000	△ 3,918,776	△ 1,339,224
		予備費支出(10)	100,000	—	100,000
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 15,565,000	△ 2,066,658	△ 13,498,342
		前期末支払資金残高(12)	111,100,000	98,736,885	12,363,115
		当期末支払資金残高(11)+(12)	95,535,000	96,670,227	△ 1,135,227

II 地域・ボランティア活動事業拠点区分

住民参加による地域福祉活動の推進を図るため、ボランティア活動の支援や相談調整、ふれあい会食、災害ボランティア体制の検討などに取り組みました。また、新たに受託した安否確認事業においては、月1回の家庭訪問による安否確認を行うとともに、訪問した際に伺った相談については、該当する相談機関などに橋渡しを行い、利用者の生活支援の一部を担いました。

1 福祉コミュニティ基金事業

1) ボランティア活動及び小地域福祉活動の推進

① ボランティア・福祉活動への助成

市内を主たる活動拠点とし、年間を通じて計画的かつ継続的に活動を行っているグループに対して活動費の助成を行いました。

また、実地調査も兼ねた活動訪問を行い、活動状況を伺うとともに、活動中の不安や悩みなどに対する相談対応を行いました。

【助成実績】

助成金名	助成件数	助成金額
ボランティア福祉活動助成金（運営）	75件	3,257,500円
ボランティア福祉活動助成金（研修参加）	0件	0円
ボランティア福祉活動助成金（周年行事）	1件	20,000円
ボランティア福祉活動助成金（資機材購入）	0件	0円
つどい活動助成金	17件	429,000円
サロン活動助成金（福祉コミュニティ基金分）	109件	3,272,500円
サロン活動助成金（赤い羽根共同募金事業分）	20件	710,000円
合 計		7,689,000円

② ボランティア・市民活動災害共済事業

ボランティア活動中の万が一の事故に備えるため、ボランティア・市民活動災害共済などへの加入促進を図りました。また、加入時には事故防止の啓発と活動内容の把握に努め、ボランティアニーズの調整や新たなつながりづくりを意識した関わりを進めました。

【加入状況】

(兵庫県社会福祉協議会)

保 険 種 別		加入件数	加入者数
ボランティア市民活動災害共済	市民活動災害共済プラン	293件	3,517名
	天災危険補償プラン	15件	50名
ボランティア活動等行事用保険		35件	—
移送サービス交通傷害保険		0件	0名

(全国社会福祉協議会)

保 険 種 別		加入件数	加入者数
ボランティア活動保険	基本プラン	17件	197名
	天災・地震補償プラン	5件	13名
	特定感染症重点プラン	4件	15名
ボランティア行事用保険		220件	—
福祉サービス総合補償		14件	—
送迎サービス補償		1件	—

③ 永年ボランティア表彰の実施

市内で5年以上ボランティア活動に従事されている元気高齢者への功績を称えるため、86名の方に対して「永年ボランティア表彰」を行いました。受賞者代表として3名の方に、明石市ボランティア連絡会代表者会議の席上で表彰式を行いました。

④ 地区社会福祉協議会の支援

地域福祉活動の中心的な役割を担う地区社協に対して、住民を対象とした福祉学習の計画的な実施依頼などを行い、本会と協働で事業を進めるための基盤強化を図りました。また、地区社協が実施した取り組みなどを本会の広報紙やホームページで紹介するなど、地域住民への周知等を行いました。

2) ボランティア養成講座の開催

① ボランティア養成講座

ボランティアの育成を図るため、下記の養成講座を開催しました。また、身近なボランティア活動の啓発を目的とした、「ボランティア体験教室」を、地域ボランティアグループ及びふれあいプラザあかし西と協働で実施しました。

【開催講座一覧】

講座名	実施日	会場	内容	受講者数	修了者数
はじめての車いす ボランティア養成講座	5月9日	明石市立 総合福祉 センター	車いすの操作方法、高齢の方や障害のある方と接する際の心構えを学ぶ。	1名	1名
市民病院での 病院ボランティア 養成講座	9月21日 及び 9月28日	明石市立 市民病院	外来患者への受付案内、車いす補助、手続き説明などの方法を学ぶ。	4名	4名
はじめての 手話講座	11月11日 から 12月2日 (計4回)	ふれあい プラザ あかし西	コミュニケーション手段の一つである手話を体験し、聴覚障がいのある方に対する理解を深める。	17名	15名
合 計				22名	20名

② 社会福祉法人との協働によるボランティア養成講座

社会福祉法人明桜会と協働し、知的障がい者の余暇支援が十分にできていないという課題を解決するため、「知的障がい者の余暇支援を考え・サポートするボランティア養成講座」を開催しました。(全3回、12名受講)

3) 福祉学習の推進

小学校での福祉体験学習(点字、手話、車いすなど)を、ボランティアの協力を得て実施するとともに、障がい当事者団体に協力いただき、当事者と交流できる機会づくりの調整を行いました。(※詳細実績はP.30に記載。)

4) 明石市ボランティア連絡会との協働

明石市ボランティア連絡会の運営が円滑に進行するよう、役員などとの連携を密にし、明石市ボランティア連絡協議会が取り組む事業の支援を行いました。

また、運営の財政支援として助成金を交付しました。

(助成金額：1,500,000円)

① ボランティア連絡会諸会議の支援

会議の円滑化、事業の協働推進を目的として、各種会議に出席し、適宜相談に対応できるよう努めました。ボランティアフェスタや校区ボランティア交流会の開催や事業の継続などに関する相談支援を行いました。

(主な会議)

役員会 (毎月)、代表者会議 (7月、9月、12月、3月)、合同会議 (6月)
その他 (適宜)

【ボランティアセンターグループ登録状況】

分野区分	主 な 活 動	グループ数	ボランティア数
技 術	障がいのある方や高齢者に対して必要な技術を生かした個人個人にあった支援活動	13 グループ	314名
地 域	小学校区や自治会単位のグループで地域住民の支援活動を目的に友愛訪問やサロン開催などの活動	30 グループ	770名
施設・環境	福祉施設や個人宅等への訪問、技術奉仕、自然保護や環境保全、清掃奉仕等の活動	16 グループ	211名
教 育	居場所づくりなど子育て支援や、教室の開催等学び支援	9 グループ	120名
文化・健康	特技・趣味を活かしニーズに応じた文化活動、健康促進・啓発などの健康づくり活動	19 グループ	280名
合 計		87 グループ	1,695名

② 校区ボランティア交流会の開催支援

同じ地域に住むボランティア同士が、活動分野を超えて地域内で関わり、協力体制を築くことを目的とした校区ボランティア交流会の開催を支援しました。災害時の支援や自分たちにできることについての意見交換をする校区が多く、いつ起こるか分からない災害について、意識するきっかけとなりました。

【各校区ボランティアによる交流会開催報告】

校区	開催日	会場	参加 グループ数	参加者数
朝霧中	1月31日	あさぎり福祉センター	14 グループ	40名
大蔵中	10月31日	大蔵コミセン	17 グループ	42名
錦城中	10月21日	明石市立文化博物館	8 グループ	30名
衣川中	10月14日	衣川コミセン	10 グループ	33名
貴崎小	1月13日	貴崎みんなのひろば “よっといで”	12 グループ	39名
花園小	2月3日	西明石サポーターズ ファミリー	7 グループ	34名
藤江小	9月16日	藤江小コミセン	14 グループ	28名
和坂小	12月17日	和坂小コミセン	24 グループ	49名
鳥羽小	10月11日	鳥羽小コミセン	5 グループ	31名
沢池小	2月10日	弁財天厚生館	18 グループ	34名
大久保小	11月11日	大久保小コミセン	21 グループ	35名
大久保中	9月16日	大久保コミセン	13 グループ	44名
山手小	1月28日	大久保北コミセン	16 グループ	45名
江井島中	11月25日	江井島コミセン	7 グループ	21名
高丘中	10月29日	高丘中央コミセン	24 グループ	55名

魚住東中	10月21日	魚住市民センター	9 グループ	26名
魚住中	10月14日	魚住市民センター	16 グループ	39名
二見中	7月8日	ふれあいプラザあかし西	15 グループ	46名
合 計			250 グループ	671名

③ ふれあいプラザあかし西ボランティア活動室の支援

毎月開催の事務局員会議（ボランティアによる運営会議）、連絡会議（ふれあいプラザあかし西に入居する各組織が参加）に出席し、情報提供を行いました。また、「わくわくオータムフェスタ」では、約3年振りに飲食ブースがある形での開催となり、感染症対策を徹底した上で、喫茶・V活動室・スーパーボールすくいのブースをボランティアとともに担いました。その他、兵庫県ボランティア・市民活動災害共済の加入手続きを行う臨時窓口を開設し、活動室の利用促進を図りました。

④ あかしボランティアフェスタの開催

令和5年11月5日（日）に、「第15回あかしボランティアフェスタ」を開催し、約300名の方が来場されました。4年振りに明石市立総合福祉センター全館を使用した実施となり、日頃の活動を紹介するポスター展示、舞台発表、学生が主体となり災害時のことを考えるきっかけづくりの活動を進める地域防災グループ「TEAM-3A」による防災すごろくの実施など、日頃の活動を元に、参加されたボランティアが楽しみながら交流を深める機会となりました。

5) ボランティアサポーターと協働した活動の推進

ボランティア活動の経験が豊富な方をボランティアサポーターとして委嘱し、ボランティア相談などの対応を協働で行いました。また、ボランティアサポーターで組織するボランティアサポーター協議会の定例会では、お互いの相談内容を共有するなど資質向上に関する取組を支援するとともに、相談対応力の向上を目指して、外部講師による研修や、楽しくボランティアをするための講演会をボランティア連絡会の会員も参加できる形で実施しました。

自主的な地区別勉強会では、地域活動での相談ブースの設置や地域のイベントに参加するなどボランティア活動の啓発を行いました。また、運営の財政支援として助成金を交付しました。（助成金額：300,000円）

【ボランティアサポーター協議会】

(委嘱者) 24名

(ボランティアサポーターによる相談窓口)

- ・コープ西明石 2階 笑くぼ 毎月第1、4金曜日 21回
- ・魚住市民センター 2階 相談室 毎月第2水曜日 11回
- ・ふれあいプラザあかし西ボランティア活動室 毎月第3木曜日 11回
- ・総合福祉センター・あさぎり福祉センター 奇数月第4月曜日(不定期) 4回
- ・西明石サポーターリングファミリー 毎週月曜日から金曜日 随時開催

6) 認知症の人等を支え合える取り組みの推進

本会が運用する要援護者見守りSOSネットワークを通じて、外出中に道に迷う恐れがある高齢者や障害者等の家族から登録の申出を受け、行方不明時に福祉関係専門職や民生児童委員等の特定協力者及びその他一般協力者へメールの一斉送信を行い、早期発見の一助としました。

また、地域総合支援センターと協働で声掛け訓練を実施しました。

【利用登録者、協力者、メール発信の状況】

利用登録者	特定協力者(※1)	一般協力者(※2)	メール発信回数
155名	294名	268名	7回

※1 特定協力者：文字情報と写真を送信する協力者

※2 一般協力者：文字情報のみを送信する協力者

【声かけ訓練の実施】

日 程	内 容
10月26日	あさぎり・おおくら総合支援センターが主となり、コープ朝霧、シルバーサポーター、キャラバンメイトなど12名が訓練に参加しました。 コープ朝霧の店舗を使用し、声掛けのポイントなどを学びました。
11月16日	おおくぼ総合支援センターが主となり、44名の地域住民が参加しました。 認知症の方役を担っていただいた住民への声かけ、安全に誘導する体験、グループワークによる意見交換を行いました。

2 ボランティア活動サポート事業

1) ボランティアセンターでの相談対応

サロン活動、ふれあい訪問活動、福祉学習、ボランティア・市民活動災害共済など、ボランティア活動に関する幅広い相談支援を行いました。

また、ボランティアの支援を必要とする個人や団体からの依頼を受け、個人ボランティア、ボランティアグループに対して調整を行いました。依頼を受ける際には、相談者のニーズだけでなく、生活状況や身体状況などを聞き取り、ボランティア以外の、多機関との連携を意識し、支援の輪が広がるようなつながりづくりに努めました。

【ボランティア等に関する相談件数】	544件（延件数）
【ボランティア新規登録件数】	（個人）20件 （団体）18件
【ボランティア依頼調整件数】	（個人）3件 （団体）35件

2) 災害ボランティアセンター事業

① 災害ボランティア事前登録制度

災害時にボランティア活動が効果的に行えるよう、災害ボランティア事前登録制度の周知と登録の呼びかけを随時行いました。

【災害ボランティア登録状況】

個人	団体
87名	14団体

② 災害ボランティアセンターの充実

災害ボランティア事前登録者・団体、明石市ボランティア連絡会、明石市ボランティアサポーター協議会などへ参加を呼び掛け、災害時に迅速で効果的な活動展開が行えることを目的とした災害ボランティアセンターの立ち上げとニーズ聴き取り訓練を実施しました。傾聴姿勢、必要な情報の聴き取りを意識した訓練としたことで、場面に応じた課題把握ができ、災害ボランティアセンター運営マニュアルの改訂に結び付けました。

また、令和6年能登半島地震への災害救援活動として、石川県七尾市社会福祉協議会が開設した、七尾市災害ボランティアセンターへ職員1名を派遣し、災害ボランティアセンターの運営業務に従事しました。

3 ふれあい会食事業

身近な地域での見守り活動のひとつとして、各地区月2回のふれあい会食を、ボランティアの協力を得ながら実施しました。基本的な感染症対策を講じながら、会食形式での開催、安否確認のための訪問、個々への配食など、各会場で工夫を凝らした取組を支援しました。

【実績】

中学校区	朝霧	大蔵	衣川	望海	野々池	大久保	大久保北	高丘	合計
会場数	3か所	2か所	8か所	2か所	3か所	1か所	1か所	3か所	23か所
食数	988食	608食	489食	1,257食	1,095食	57食	345食	1,444食	6,283食
ボランティア数	30名	38名	63名	57名	64名	5名	6名	34名	297名

4 意思疎通支援者養成事業

明石市からの委託を受け、朗読及び点訳ボランティアの養成講座を開催しました。

【実績】

講座名	実施日	会場	内容	受講者	修了者
朗読(音声訳)ボランティア養成講座	9月4日から 11月20日 (全10回)	明石市立総合福祉センター	視覚障がいのある方への音声による情報提供である、朗読技術を基礎から学び、その後のボランティア支援活動に結び付ける。	9名	9名
点訳ボランティア養成講座	2月1日から 3月21日 (全8回)	明石市立総合福祉センター	視覚障がいのある方への点字による情報提供である、点訳技術を基礎から学び、その後のボランティア支援活動に結び付ける。	13名	12名
合計				22名	21名

5 高齢者安否確認事業

4月より新たにスタートした安否確認事業において、75歳以上のひとり暮らし高齢者に対して、見守りサポーターが月1回の家庭訪問による安否確認を行うとともに、訪問した際に伺った相談については、該当する相談機関などに橋渡しを行い、利用者の生活支援の一部を担いました。家庭訪問を担う見守りサポーターも徐々に周知され、ひとり暮らし高齢者や民生児童委員から訪問中にお声掛けされ、相談を受ける機会も増え、新たな見守り資源の一つとして定着に向けた活動を進めています。

またパイロット事業として、支援の必要がある世帯に対して見守りサポーターが月1回、家庭訪問を行い世帯の状況を確認するとともに、訪問時の状況を関係機関と共有することで、見守り体制の構築を図りました。

【安否確認訪問実績】

利用者数 (令和5年度末)	延訪問回数	新規	廃止
3,523名	40,022回	562名	907名

【パイロット訪問実績】

世帯数 (令和5年度末)	延訪問回数	新規	終了
6世帯	17回	9世帯	3世帯

地域・ボランティア活動事業拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
収入	経常経費補助金収入	18,105,000	16,138,722	1,966,278	
	市補助金収入	17,000,000	15,029,622	1,970,378	
	福祉コミュニティ基金運営事業補助金収入	14,000,000	12,029,622	1,970,378	
	市ボランティア活動サポート事業補助金収入	3,000,000	3,000,000	0	
	県社協補助金収入	1,105,000	1,109,100	△ 4,100	
	ボランティア災害共済等運営事務費補助金収入	105,000	109,100	△ 4,100	
	ボランティア活動サポート事業補助金収入	1,000,000	1,000,000	0	
	受託金収入	41,189,000	34,885,325	6,303,675	
	市受託金収入	41,189,000	34,885,325	6,303,675	
	ふれあい会食事業受託金収入	3,883,000	3,206,516	676,484	
	意思疎通支援者養成事業受託金収入	306,000	215,975	90,025	
	安否確認事業受託金収入	37,000,000	31,462,834	5,537,166	
	受取利息配当金収入	1,000	174	826	
	事業活動収入計(1)	59,295,000	51,024,221	8,270,779	
	事業活動による収支	支出	人件費支出	30,631,000	26,633,042
役員報酬支出			16,000	0	16,000
職員給料支出			10,679,000	9,373,304	1,305,696
職員給料支出			2,371,000	1,622,980	748,020
嘱託職員給料支出			17,000	16,536	464
契約職員賃金支出			8,291,000	7,733,788	557,212
職員賞与支出			2,015,000	2,270,114	△ 255,114
非常勤職員給与支出			12,256,000	11,558,007	697,993
法定福利費支出			5,665,000	3,431,617	2,233,383
事業費支出			11,342,000	8,644,576	2,697,424
水道光熱費支出			186,000	182,771	3,229
消耗器具備品費支出			5,629,000	4,831,081	797,919
保険料支出			109,000	75,330	33,670
賃借料支出			1,026,000	538,038	487,962
車輛費支出			756,000	504,338	251,662
諸謝金支出			615,000	243,791	371,209
旅費交通費支出			575,000	258,590	316,410
印刷製本費支出			130,000	15,580	114,420
通信運搬費支出			959,000	868,334	90,666
会議費支出			82,000	17,390	64,610
業務委託費支出		958,000	941,200	16,800	
手数料支出		278,000	153,048	124,952	
雑支出		39,000	15,085	23,915	
事務費支出		6,061,000	5,332,724	728,276	
福利厚生費支出		148,000	56,700	91,300	
職員被服費支出		719,000	659,903	59,097	
旅費交通費支出		158,000	22,510	135,490	
研修研究費支出		40,000	0	40,000	
事務消耗品費支出		817,000	702,716	114,284	
修繕費支出		239,000	188,100	50,900	
通信運搬費支出		721,000	646,004	74,996	
手数料支出		167,000	132,520	34,480	
保険料支出		327,000	295,754	31,246	
賃借料支出		236,000	155,364	80,636	
租税公課支出		2,489,000	2,473,153	15,847	
助成金支出		12,420,000	11,026,173	1,393,827	
助成金支出		12,420,000	11,026,173	1,393,827	
助成金支出		12,420,000	11,026,173	1,393,827	
事業活動支出計(2)		60,454,000	51,636,515	8,817,485	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		△ 1,159,000	△ 612,294	△ 546,706	

施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計(4)	0	0	0
施設整備等による収支	支出			
	固定資産取得支出	1,719,000	1,413,830	305,170
	車両運搬具取得支出	844,000	689,590	154,410
	器具及び備品取得支出	875,000	724,240	150,760
	施設整備等支出計(5)	1,719,000	1,413,830	305,170
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 1,719,000	△ 1,413,830	△ 305,170
その他の活動による収支	収入			
	積立資産取崩収入	150,000	0	150,000
	固定資産購入積立資産取崩収入	150,000	0	150,000
	拠点区分間繰入金収入	2,524,000	2,157,901	366,099
	その他の活動収入計(7)	2,674,000	2,157,901	516,099
その他の活動による収支	支出			
	積立資産支出	300,000	131,777	168,223
	退職給付引当資産支出	300,000	131,777	168,223
	その他の活動支出計(8)	300,000	131,777	168,223
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	2,374,000	2,026,124	347,876
	予備費支出(10)	—	—	—
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 504,000	0	△ 504,000
	前期末支払資金残高(12)	504,000	494,917	9,083
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	494,917	△ 494,917

Ⅲ 共同募金配分金事業等拠点区分



1 赤い羽根共同募金配分金事業

1) ふれあい訪問

高齢の方、障がいのある方等が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、定期的に地域のボランティアが訪問する活動に対して助成を行いました。訪問活動を通じて、対話・交流等による閉じこもりや孤立化を防ぎ、近隣での助け合いの輪を広げています。

(地区：8地区、延訪問回数：4,443回、助成金額：744,000円)

2) 小地域福祉活動支援

身近な場所で、「無理なく」「気軽に」集う自主的な居場所活動に対して、活動費の助成を行い、活動継続に向けた柔軟な支援を心掛けました。

【サロン活動助成金（再掲）】

助成金名	助成件数	助成金額
サロン活動助成金（福祉コミュニティ基金分）	109件	3,272,500円
サロン活動助成金（赤い羽根共同募金事業分）	20件	710,000円
合 計	129件	3,982,500円

3) 福祉学習の推進

点字・手話・車いすなどの体験学習を、ボランティアの協力を得て実施するとともに、障がい当事者団体に協力いただき、当事者との交流を推進しました。また、地区社協が主催する福祉体験学習について費用の助成を行いました。

(地区：9地区、助成金額：164,472円)

【実施状況】

区分	主催者	実施数	内 容							
			点字	手話	車いす	ガイドヘルプ	音声訳	要約筆記	当事者との交流	精神障がい者支援
学校行事	小学校	23校	17回	13回	14回	6回	—	—	24回	—
	中学校	2校	8回	—	—	1回	—	7回	1回	—
地域行事	地区社協等	9地区 他	2回	10回	11回	—	—	—	6回	1回

4) 認知症当事者等集いの場運営助成

認知症の方々の「集いの場」を運営する「介護ボランティアたんぽぽ」の運営助成及び相談支援を行いました。また、配偶者や親などを介護している方が集まり、自分の思いを発散できる場として「だるま会～男性介護者のかたり場～」を開催する際に、語りの時間に配偶者などを「介護ボランティアたんぽぽ」でお世話してもらい、介助のことを気にせずに過ごすことができるよう協力をいただきました。(助成金額：150,000円)

5) 車いす貸出

介助が必要な方の外出、病気やけがなどで一時的に車いすが必要な方等の生活を支援するために、総合福祉センターや地域の貸出拠点で車いすの貸出を行いました。

【貸出実績】

	貸出場所数	設置台数	貸出件数
総合福祉センター	1か所	37台	164件
各 地 域	164か所	268台	1,188件

6) 福祉機器リサイクル

家庭で不用となった電動ベッドや車いすなどの福祉機器のうち再利用が可能なものを譲り受け、ボランティアの協力により点検整備した後に、必要とされる方に無償で譲り渡しました。

【福祉機器譲り受け・譲り渡し】

譲り受け数	譲り渡し数
50台	38台

【ボランティア点検整備活動】

活動回数	活動延人数
19回	103名

7) 情報発信推進

【広報啓発活動実績】

○ボランティアセンターの広報

ボランティアセンターだより、ボランティアホームページ（毎月1回以上更新、必要に応じて随時更新）を通じて、助成金などの申請書類をダウンロードできるように整備したほか、各種助成金情報などを掲載し、ボランティア活動の側面支援ができるよう情報発信に努めました。

○『あかしの社会福祉』年4回発行（各号13,000部）

（4月25日、7月25日、10月25日、1月25日）

○本会ホームページ更新

8) 各種団体配分

地区社協及び市内の地域福祉に関わる団体（高齢者、障がい児・者、児童・青少年等の各分野）に対して、活動支援を行いました。

（22地区社会福祉協議会：3,472,802円、21地域福祉団体：2,295,000円）

9) こども版公募配分

市内の小学校・中学校・養護学校・高等学校等に通う子どもたち自身が共同募金の使いみちを考え、学校生活を豊かにするための活動や備品の購入、地域の方々と行う行事などに対し費用の一部を助成しました。

学校や放課後児童クラブ等を通して公募申請を行うことで、共同募金が身近な場所で活用されていることを知ってもらうとともに、児童・生徒の福祉に対する意識を醸成する機会としました。（助成金額：90,000円）

団 体 名		配 分 内 容
1	錦浦児童クラブ	夏まつりの開催
2	神戸大学附属小学校育友会	全校児童対象の交流イベントの開催

10) 公募配分

共同募金による支援が広く公平に行き渡るよう、市内を活動拠点とする地域福祉団体、市内全自治会・町内会に対して案内を行い、募金等配分検討委員会において助成額を審議決定し、地域の福祉活動に対する支援を行いました。

(助成金額：240,000円)

	団 体 名	配 分 内 容
1	清水ヶ丘自治会	自主防災事業（避難訓練）
2	江井島の海と子どもを守る会	海岸清掃活動と地引網体験

2 歳末たすけあい配分金事業

1) 施設・団体等交流支援事業

歳末期に実施される地域や福祉施設等での交流事業や、地域での見守りが必要な世帯への訪問事業などに対して支援を行いました。

(85団体、1,822,309円)

共同募金配分金事業等拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	収入			
	経常経費補助金収入	15,139,000	11,865,069	3,273,931
	共同募金配分金収入	15,139,000	11,865,069	3,273,931
	一般募金配分金収入	12,139,000	9,988,630	2,150,370
	歳末たすけあい配分金収入	3,000,000	1,876,439	1,123,561
	事業活動収入計(1)	15,139,000	11,865,069	3,273,931
	支出			
	事業費支出	384,000	187,700	196,300
	車輜費支出	60,000	44,270	15,730
	諸謝金支出	123,000	120,000	3,000
	印刷製本費支出	115,000	0	115,000
	通信運搬費支出	40,000	0	40,000
	手数料支出	46,000	23,430	22,570
	事務費支出	3,193,000	1,988,786	1,204,214
	旅費交通費支出	75,000	43,680	31,320
	事務消耗品費支出	533,000	92,710	440,290
	修繕費支出	20,000	2,500	17,500
	通信運搬費支出	330,000	195,341	134,659
	会議費支出	15,000	8,338	6,662
	広報費支出	1,792,000	1,468,500	323,500
業務委託費支出	250,000	101,432	148,568	
手数料支出	178,000	76,285	101,715	
助成金支出	14,116,000	9,688,583	4,427,417	
助成金支出	14,116,000	9,688,583	4,427,417	
助成金支出	14,116,000	9,688,583	4,427,417	
事業活動支出計(2)	17,693,000	11,865,069	5,827,931	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 2,554,000	0	△ 2,554,000	
施設整備等による収支				
収入				
施設整備等収入計(4)	0	0	0	
支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0	
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支				
収入				
その他の活動収入計(7)	0	0	0	
支出				
その他の活動支出計(8)	0	0	0	
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0	
予備費支出(10)	—	—	—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 2,554,000	0	△ 2,554,000	
前期末支払資金残高(12)	15,976,000	15,976,205	△ 205	
当期末支払資金残高(11)+(12)	13,422,000	15,976,205	△ 2,554,205	

IV 介護保険事業等拠点区分

1 居宅介護支援事業

要介護の状態にある高齢者や障がい者の居宅生活を支援するため、介護支援専門員（相談支援専門員）による、居宅介護支援（ケアプラン作成）事業、特定相談支援（障害福祉サービスなど利用計画作成）事業を行いました。また、地域総合支援センターから委託を受け、要支援状態にある高齢者の介護予防ケアプランを作成しました。

令和5年12月より、事業所閉鎖に向けた利用者説明を開始し、全ての利用者に対して説明を終えるとともに、他事業所へのスムーズな引継に向けた準備を開始しました。

【居宅介護支援事業（介護度別利用者延人数）】

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
403名	498名	216名	137名	123名	1,377名

【特定相談支援事業（支援別利用者延人数）】

利用支援 ※1	継続支援 ※2	合計
41名	61名	102名

※1 利用支援…初回の相談を受けて、障害者福祉サービスの利用計画を作成すること

※2 継続支援…前計画をチェックして、見直し計画を作成すること

【介護予防ケアプラン作成】

作成件数 742件

介護保険事業等拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
収入	介護保険事業収入	30,629,000	26,213,144	4,415,856	
	居宅介護支援介護料収入	27,666,000	23,350,610	4,315,390	
	居宅介護支援介護料収入	27,666,000	23,350,610	4,315,390	
	利用者等利用料収入	1,000	0	1,000	
	その他の利用料収入	1,000	0	1,000	
	その他の事業収入	2,962,000	2,862,534	99,466	
	補助金事業収入(公費)	0	30,000	△ 30,000	
	受託事業収入	2,962,000	2,832,534	129,466	
	障害福祉サービス等事業収入	1,729,000	1,442,680	286,320	
	自立支援給付費収入	1,729,000	1,442,680	286,320	
	計画相談支援給付費収入	1,729,000	1,442,680	286,320	
	受取利息配当金収入	1,000	1,601	△ 601	
	その他の収入	1,000	12,000	△ 11,000	
	雑収入	1,000	12,000	△ 11,000	
	雑収入	1,000	12,000	△ 11,000	
	事業活動収入計(1)	32,360,000	27,669,425	4,690,575	
	事業活動による収支	支出	人件費支出	29,170,000	24,132,964
職員給料支出			20,021,000	16,639,768	3,381,232
嘱託職員給料支出			2,483,000	1,811,838	671,162
契約職員賃金支出			17,538,000	14,827,930	2,710,070
職員賞与支出			4,918,000	4,137,785	780,215
法定福利費支出			4,231,000	3,355,411	875,589
事業費支出			628,000	576,846	51,154
車輛費支出			528,000	521,966	6,034
旅費交通費支出			100,000	54,880	45,120
事務費支出			4,165,000	3,489,171	675,829
福利厚生費支出			74,000	64,200	9,800
旅費交通費支出			6,000	0	6,000
研修研究費支出			149,000	52,700	96,300
事務消耗品費支出		348,000	135,315	212,685	
水道光熱費支出		450,000	294,535	155,465	
修繕費支出		27,000	0	27,000	
通信運搬費支出		1,046,000	947,980	98,020	
業務委託費支出		403,000	402,600	400	
手数料支出		107,000	91,609	15,391	
保険料支出		177,000	149,890	27,110	
賃借料支出		794,000	768,177	25,823	
土地・建物賃借料支出		360,000	360,000	0	
租税公課支出		218,000	217,165	835	
諸会費支出		5,000	5,000	0	
雑支出		1,000	0	1,000	
雑支出		1,000	0	1,000	
事業活動支出計(2)	33,963,000	28,198,981	5,764,019		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 1,603,000	△ 529,556	△ 1,073,444		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	1,000	500	500	
介護保険事業等運営安定積立資産支出	1,000	500	500		
その他の活動支出計(8)	1,000	500	500		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 1,000	△ 500	△ 500		
予備費支出(10)	—	—	—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 1,604,000	△ 530,056	△ 1,073,944		
前期末支払資金残高(12)	13,245,000	14,363,139	△ 1,118,139		
当期末支払資金残高(11)+(12)	11,641,000	13,833,083	△ 2,192,083		

V 基幹相談支援センター拠点区分

1 基幹相談支援センター兼障害者虐待防止センター運営事業

障がい福祉分野における相談支援の中核的な役割を担う機関として、総合相談・専門相談、権利擁護・虐待防止、地域の相談支援体制の強化などに取り組みました。

1) 総合相談・専門相談

障害福祉サービスだけでは解決が困難な複合多問題や虐待をはじめとする権利侵害などを含めて多岐に渡る相談が寄せられています。

【相談支援を利用した障がい者等の人数（実人数）】

身体	知的	精神	発達	高次脳	難病等	その他	合計
72人	183人	248人	54人	5人	6人	0人	568人

【相談支援件数（延件数）】

身体	知的	精神	発達	高次脳	難病等	その他	合計
1,140件	3,518件	3,477件	933件	78件	54件	0件	9,200件

2) 権利擁護・虐待防止

虐待通報件数は微増しています。

【障がい者虐待に関する相談・通報等の件数】

			通報義務に該当しない相談等				合計
養護者	施設従事者等	使用者	保育所等	学校	医療機関等	官公署	
25件	16件	4件	0件	0件	2件	3件	50件

【障がい者虐待（疑い）の種別・類型（重複あり）】

	身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	放棄・放置	経済的虐待	合計
養護者	10件	3件	12件	0件	6件	31件
施設従事者等	4件	1件	10件	0件	1件	16件
使用者	1件	0件	4件	0件	0件	5件

【被虐待者（疑い）の障がい種別（重複あり）】

	身体	知的	精神	発達	難病等	その他	合計
養護者	6件	6件	16件	0件	0件	0件	28件
施設従事者等	2件	2件	9件	3件	0件	0件	16件
使用者	3件	0件	1件	0件	0件	0件	4件

【明石市権利擁護・障害者虐待防止研修】

障害者福祉施設従事者等による虐待防止対策の一助として、オンデマンド型の研修を実施しました。市内障害福祉サービス事業所のうち111事業所が受講しました。（配信期限：令和5年11月1日（水）～令和6年2月29日（金）まで）

カテゴリー	テーマ	時間	講師（所属）
虐待防止や人権意識を高めるための研修	障害福祉施設従事者等に求められる人権感覚	90分	玉木 幸則氏 （内閣府障害者政策委員）
	虐待防止の視点	90分	谷口 泰司氏 （関西福祉大学）
	権利擁護の視点	60分	水口 貴仁氏 （市後見支援センター）
	虐待防止に向けた取り組み	30分	杉下 味香氏（feel） 米 和弘氏（あーち） 玉木 伸宜氏（オーク）
職員のメンタルヘルスのための研修	ストレスマネジメント	60分	川田 美和氏 （兵庫県立大学）
障害特性を理解し適切に支援が出来るような知識や技術を獲得するための研修	自閉症・行動障害等に関する理解と支援	60分	三村 寛裕氏 （大地の家）
	発達障害の理解と支援	60分	木股 真理子氏 （市発達支援センター）
	精神障害の理解と支援	60分	朝比奈 寛正氏 （兵庫大学）

3) 地域の相談支援体制の強化の取り組み

相談支援専門員に対する専門的な助言や指導（相談支援専門員が直面している困難な事柄を自ら解決できるような支援）、人材育成の支援（障がい特性の理解や相談援助技術の習得を目的とした事例検討会等を毎月開催）等に取り組みました。

日 時	研修等のテーマ（講師等）	受講者
4月20日（木）	趣味に浪費してしまう発達障害のある人のストレス発散方法を考える（明石市基幹相談支援センター 二星相談支援専門員）	18名
5月18日（木）	就労支援の提案に拒否的な精神障がいのある人へのアプローチを考える（スマイリーサポート明石 草刈相談支援専門員）	20名
6月15日（木）	相談援助に活かせる諸技法～アセスメントから支援まで～（こころ相談研修センター 杉下臨床心理師・公認心理師）	24名
7月20日（木）	日常生活動作の評価方法Ⅰ（障害者支援施設博由園 渡邊理学療法士）	24名
8月17日（木）	日常生活動作の評価方法Ⅱ（障害者支援施設博由園 渡邊理学療法士）	24名
9月21日（木）	人とのつながりを求めて、投げ銭、課金を繰り返す精神障害のある人への支援を考える（明石波の家相談支援事業所 松本相談支援専門員）	22名
10月19日（木）	権利擁護と意思決定支援（神戸学院大学 香山講師）	21名
11月16日（木）	成年後見人と相談支援事業所の連携について（リーガルサポート兵庫 川端司法書士、ぽあとなあ兵庫 森保社会福祉士）	23名
12月14日（木）	家族の意向により、支援が進まない方へのアプローチを考える（相談支援事業所栞 飯塚相談支援専門員）	16名
1月18日（木）	相談支援に活かせる諸技法（幸地クリニック 中元精神保健福祉士・公認心理師）	15名
2月15日（木）	近藤式アセスメント技法～質の高い相談支援を実現する～（明石市基幹相談支援センター 足立主任相談支援専門員）	18名
3月21日（木）	楽しく学べる！濱口式事例検討会（濱口東播磨圏域コーディネーター）	19名

2 地域自立支援協議会運営事業

専門部会（くらし・しごと・こども）及び相談支援連絡会並びにサービス管理責任者・児童発達支援管理責任者連絡会を設置して、協議会に参画する地域の関係機関の連携の緊密化を図るほか、障害福祉サービスの提供等の実務を通じて把握した、①支援体制に関する課題、②既存の制度やサービスだけでは解決が困難な事例、③繰り返し起こっている類似の問題等をテーマ別に整理・集約し、運営会議で協議・検討したほか、地域課題の解決に向けて、「あかし児童通所サービス等ガイド」と「明石のまちの福祉事業所自主製品応援カタログ『TaCCo TaCCo（たっこたっこ）』」を作成しました。

開催日	協議・検討事項	所管
6月30日	令和5年度（2023年度）専門部会等活動計画（案）について（事務局）	事務局
9月15日	平日の夕方や土日に過ごすことのできる居場所の必要性について（相談支援連絡会）	相談支援連絡会
	訪問系サービス時の駐車場確保について	くらし部会
12月5日	チャレンジウィークのさらなる活用と可能性について	しごと部会
3月1日	明石市障害児（者）通園費支給要綱の運用改善について	相談支援連絡会
	医療的ケア児及びその家族の生活に関する啓発・普及について	こども部会

基幹相談支援センター拠点区分 資金収支計算書

(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
収入	受託金収入	56,765,000	53,999,067	2,765,933	
	市受託金収入	56,765,000	53,999,067	2,765,933	
	基幹相談支援センター等受託金収入	56,765,000	53,999,067	2,765,933	
	事業活動収入計(1)	56,765,000	53,999,067	2,765,933	
事業活動による収支	支出	人件費支出	49,056,000	48,961,897	94,103
		職員給料支出	31,241,000	31,151,646	89,354
		職員給料支出	26,331,000	26,242,451	88,549
		契約職員賃金支出	4,910,000	4,909,195	805
		職員賞与支出	11,185,000	11,183,714	1,286
		法定福利費支出	6,630,000	6,626,537	3,463
		事業費支出	4,196,000	3,337,553	858,447
		消耗器具備品費支出	371,000	350,916	20,084
		賃借料支出	848,000	798,101	49,899
		車輛費支出	316,000	274,641	41,359
		諸謝金支出	797,000	275,000	522,000
		旅費交通費支出	254,000	136,280	117,720
		印刷製本費支出	150,000	120,000	30,000
		通信運搬費支出	644,000	598,528	45,472
		会議費支出	17,000	12,987	4,013
		広報費支出	271,000	270,600	400
		業務委託費支出	528,000	500,500	27,500
		事務費支出	1,719,000	1,492,126	226,874
		福利厚生費支出	76,000	73,300	2,700
		旅費交通費支出	130,000	73,050	56,950
		研修研究費支出	80,000	61,720	18,280
		通信運搬費支出	32,000	31,680	320
		手数料支出	79,000	58,248	20,752
		保険料支出	210,000	186,014	23,986
		賃借料支出	1,069,000	971,014	97,986
		租税公課支出	30,000	24,600	5,400
		諸会費支出	13,000	12,500	500
			事業活動支出計(2)	54,971,000	53,791,576
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	1,794,000	207,491	1,586,509	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
	施設整備等支出計(5)	0	0	0	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
	積立資産支出	1,794,000	207,491	1,586,509	
	退職給付引当資産支出	1,794,000	207,491	1,586,509	
	その他の活動支出計(8)	1,794,000	207,491	1,586,509	
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 1,794,000	△ 207,491	△ 1,586,509	
	予備費支出(10)	—	—	—	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
	前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

VI 後見支援センター拠点区分

1 後見支援センター運営事業

認知症や知的、精神の障がい等により判断能力が十分でない人や、支援や援護を必要とする人が住み慣れた地域で安全に安心して生活を続けられるよう、本人主体の観点から後見制度の利用支援や権利擁護支援を行い、総合的かつ積極的な権利擁護の推進を図りました。

事業としては、中核機関としての体制整備と機能強化を重点として後見・権利擁護の専門相談・専門支援、後見制度の広報・啓発、法人後見の受任、市民後見人等の養成や活動支援、後見基金の運用と後見基金事業の実施、関係機関との連携強化による支援体制やネットワークづくり、センターの運営・事業調整・受任調整委員会の運営、専門職バンクの登録及び後見人の申立・候補者の調整支援等を行いました。

① 相談支援実績

	合 計	(相談者の内訳)		
		高齢者	障害者	その他
相談者数(実人数)	534人	348人	178人	8人
相談支援件数(延件数)	8,686件			

② 法律専門相談における実績(法律職による来所相談)

	合 計
開催回数	46回
相談件数	75件

③ 終活専門相談における実績(法律職による来所相談)

	合 計
開催回数	30回
相談件数	28件

④ 後見制度の広報・啓発実績(地域の講座等への講師派遣・視察受入)

	合 計
研修会等への講師派遣	9回
視察の受入	3回

⑤ 専門職バンクの登録状況（令和6年3月31日現在）

弁護士	18人
司法書士	44人
社会福祉士	57人
合 計	119人

⑥ 専門職バンクへの相談依頼件数

（職種／内容）	後見申立	後見受任	その他	合 計
弁護士	4件	4件	1件	9件
司法書士	38件	28件	1件	67件
社会福祉士	－	14件	－	14件
合 計	42件	46件	2件	90件

⑦ 法人後見・監督の受任

平成28年度から市民後見人養成講座修了者の現場体験の受け皿等を目的として、法人後見の受任に取り組みました。これまで延べ14名の法人後見（6名）及び監督（8名）に就任し、後見業務及び監督業務を行いました（平成30年3月に市民後見人第一号が誕生）。

【令和5年度末の受任状況】

		（内訳）			
		後見	保佐	補助	任意
法人後見	1人	1人	0人	0人	0人
法人後見監督 （市民後見人）	5人	1人	4人	0人	0人

⑧ 市民後見人等の養成や活動の支援

センターでは、将来、「市民後見人」をはじめ、地域福祉や権利擁護に携わる幅広い支援の担い手として活動する人材の発掘・養成支援を目的とする「市民後見人（市民サポーター）養成講座」を定期的で開催し、市民サポーター（養成講座修了者等）の活動支援、市民後見人の監督等の市民後見人の養成に取り組んできました。これまでに計4回、「市民後見人（市民サポーター）養成研修」を開催し、①修了者（67名）②市民サポーターバンク登録者（39名）、③市民後見人候補者（15名）、④市民後見人（8名）を輩出しました。市民後見人のフォローアップとして、勉強会や事例検討を行い、意思決定支援など市民後見人（市民後見人候補者）間での情報交換や後見業務等に関する支援のスキルアップを図りました。また、本年度は坂出市（香川県）の市民後見人を明石市に迎え、交流会を開催しました。

2 日常生活自立支援事業（県社協受託事業）

判断能力に不安のある高齢者や知的・精神障がい者が地域で安心して生活できるように福祉サービス利用の援助や日常の金銭管理援助を行いました。

また、成年後見制度への移行が必要な人に対して、制度の申立や後見人候補者等の受任調整支援を行いました。

① 契約状況等

契約者数 (令和5年度末)	新規契約者数	解約者数
105名	32名	15名

- ・解約者のうち、成年後見制度へ移行した者：6名（約40%）
- ・契約者のうち、生活保護受給者：65名（約62%）

② 生活支援員の支援実績

訪問延回数	訪問延時間
2,578回	1,970時間

3 後見基金事業（自主事業）

後見制度の普及啓発、市民後見人の養成支援及び制度の狭間支援等の後見制度の利用促進を図るために、明石市社会福祉協議会に創設した後見基金を活用し、後見支援を適切かつ円滑に行うことができるように支援を行いました。本年度は後見基金に11件の寄付と1件の遺贈がありました。

【実績】

① 基金への収入【寄付遺贈】	(12件)	50,629,445円
② 基金からの支出【支給等】	(16件)	490,835円
③ 基金の累積積立額（令和5年度末時点）		61,119,612円

4 明石市更生支援コーディネート事業

障がい者や高齢認知症者のうち、地域で自立した生活ができずに軽微な犯罪を繰り返す触法障がい者等が、地域で自立した生活ができ、犯罪を繰り返さないよう、地域の関係機関等と連携して支援を行いました。

【相談支援実績】

		相談者数 (実人数)	(相談者の内訳)			相談支援件数 (延件数)
			高齢者	障害者	その他	
支援内容	入口支援	25人	11人	13人	1人	364件
	出口支援	9人	1人	8人		166件
	その他	7人	3人	4人		40件
合計		41人	15人	25人	1人	570件

※入口支援・・・捜査・公判段階の人に対する支援

※出口支援・・・刑務所等から出所する人に対する支援

【実務者連絡会等の開催】

更生支援の支援機関(実務者)との連携強化を目的とした連絡会等を開催し、情報共有や意見交換等を行いました。

- ① 神戸地方検察庁明石支部との実務者連絡会【2回】
- ② 神戸刑務所との実務者連絡会【1回】
- ③ 神戸保護観察所との実務者連絡会【2回】※新規

後見支援センター拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
収入	寄附金収入	50,650,000	50,629,445	20,555	
	経常経費寄附金収入	50,650,000	50,629,445	20,555	
	受託金収入	73,943,000	66,848,836	7,094,164	
	市受託金収入	64,550,000	57,528,836	7,021,164	
	後見支援センター運営事業業務受託金収入	50,550,000	43,528,836	7,021,164	
	更生支援コーディネート事業受託金収入	14,000,000	14,000,000	0	
	県社協受託金収入	9,393,000	9,320,000	73,000	
	日常生活自立支援事業受託金収入	9,393,000	9,320,000	73,000	
	事業収入	2,150,000	899,470	1,250,530	
	利用料収入	720,000	655,500	64,500	
	日常生活自立支援事業利用料収入	720,000	655,500	64,500	
	法人後見受任報酬収入	480,000	240,000	240,000	
	法人後見受任報酬収入	480,000	240,000	240,000	
	後見申立費用等貸付金償還収入	950,000	3,970	946,030	
	その他の収入	0	5,000	△ 5,000	
	雑収入	0	5,000	△ 5,000	
	雑収入	0	5,000	△ 5,000	
	事業活動収入計(1)		126,743,000	118,382,751	8,360,249
	事業活動による支出	人件費支出	58,914,482	52,938,175	5,976,307
		職員給料支出	38,560,466	34,381,690	4,178,776
職員給料支出		22,209,466	20,416,647	1,792,819	
嘱託職員給料支出		6,590,000	6,237,049	352,951	
契約職員賃金支出		9,761,000	7,727,994	2,033,006	
職員賞与支出		9,407,322	9,064,721	342,601	
非常勤職員給与支出		2,705,000	2,270,529	434,471	
法定福利費支出		8,241,694	7,221,235	1,020,459	
事業費支出		9,109,243	7,348,900	1,760,343	
消耗器具備品費支出		473,401	331,100	142,301	
保険料支出		358,430	355,385	3,045	
賃借料支出		1,162,798	1,127,828	34,970	
車輛費支出		1,013,388	995,789	17,599	
諸謝金支出		1,351,000	710,100	640,900	
旅費交通費支出		443,260	358,550	84,710	
印刷製本費支出		224,000	222,200	1,800	
通信運搬費支出		1,072,966	891,461	181,505	
会議費支出		35,000	10,287	24,713	
業務委託費支出		2,360,000	2,331,200	28,800	
手数料支出		15,000	15,000	0	
後見申立費用等貸付金支出		500,000	0	500,000	
雑支出		100,000	0	100,000	
事務費支出		6,855,394	6,514,215	341,179	
福利厚生費支出		138,600	115,000	23,600	
職員被服費支出		50,000	49,830	170	
旅費交通費支出		87,000	2,400	84,600	
研修研究費支出		60,000	52,500	7,500	
事務消耗品費支出		230,000	229,893	107	
水道光熱費支出		120,000	65,385	54,615	
通信運搬費支出		24,000	21,120	2,880	
手数料支出		217,984	165,668	52,316	
保険料支出		110,000	66,730	43,270	
賃借料支出		1,948,000	1,876,511	71,489	
租税公課支出		3,869,810	3,869,178	632	
事業活動支出計(2)		74,879,119	66,801,290	8,077,829	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		51,863,881	51,581,461	282,420	

施設整備等による収支	収入				
		施設整備等収入計(4)	0	0	
	支出	固定資産取得支出	924,000	924,000	0
		ソフトウェア取得支出	924,000	924,000	0
		施設整備等支出計(5)	924,000	924,000	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 924,000	△ 924,000	0	
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	2,260,000	2,260,000	0
		後見基金積立資産取崩収入	2,260,000	2,260,000	0
		その他の活動収入計(7)	2,260,000	2,260,000	0
	支出	積立資産支出	53,199,881	52,917,461	282,420
		退職給付引当資産支出	795,881	514,881	281,000
		後見基金積立資産支出	52,404,000	52,402,580	1,420
		その他の活動支出計(8)	53,199,881	52,917,461	282,420
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 50,939,881	△ 50,657,461	△ 282,420	
	予備費支出(10)	—	—	—	
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0	
	前期末支払資金残高(12)	0	0	0	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0	

VII 地域活動支援センター事業拠点区分

障がい者が住み慣れた地域において、孤立することなく他者との交流を深め、自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、創作活動や日常生活訓練の機会を提供する各種事業を開催しました。

1) 創作・技能・適応訓練教室

点字、料理、編物、生花、陶芸、写真、書道、手話、囲碁・オセロ、体操、童謡・唱歌、パソコン、絵手紙、スポーツ、折り紙細工、短歌、刺しゅう、英会話、ウクレレの19教室を開催しました。

実施回数	276回
実参加者数	121名
延参加者数	2,416名

2) プール教室（機能訓練）

肢体不自由者を対象に、水中での機能訓練とレクリエーションを目的に「プール教室」を開催しました。

実施回数	33回
実参加者数	6名
延参加者数	60名

3) スポーツ・レクリエーションイベント

① 団体対抗！！ラダーゲッター記録大会

明石市の障がい者団体・施設等を対象に各々の事業所等で記録会を行い、合計点数を競い合う記録大会を実施しました。

参加団体の上位4チームで行う準決勝・決勝戦は総合福祉センターで開催し、大会の様子をネット配信でも観戦できるようにしました。

※ 「ラダーゲッター」はハシゴ状の枠（ラダー）にボールを投げて得点を競い合うニュースポーツです。）

開催期間	予選 令和5年10月4日から令和5年11月10日まで 準決勝・決勝戦 令和5年11月28日
参加団体数	17団体
参加者数	選手（障がい者）369名 スタッフ121名

② ユニバーサルスポーツ体験会

ユニバーサルスポーツへの関心を高めるとともに参加者同士の交流を図るため、体験会を実施しました。

開催日	令和5年10月21日
参加者数	72名 スタッフ43名（川崎重工業ボランティア 川友会、あかしパラスポネット、明石工業高等専門学校学生等）

4) 障がい者スポーツ交流事業

① にこにこスイミング教室

障がい者及び高齢者の心身機能の維持や増進を図ることを目的に、毎月第3・4木曜日に開催しました。

実施回数	44回
参加者数	278名

② こども水泳教室

障がいのある子どもたちの健康の維持向上を図ることを目的に、こども水泳教室を開催しました。

開催日	令和5年 4月15日、5月6日、5月20日 6月3日、7月1日、7月15日
参加者数	64名

地域活動支援センター事業拠点区分 資金収支計算書

(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
事業活動による収支	収入	障害福祉サービス等事業収入	23,296,000	21,950,473	1,345,527
		その他の事業収入	23,296,000	21,950,473	1,345,527
		受託事業収入	23,296,000	21,950,473	1,345,527
		事業活動収入計(1)	23,296,000	21,950,473	1,345,527
	支出	人件費支出	9,619,000	8,784,920	834,080
		職員給料支出	6,558,000	6,093,804	464,196
		契約職員賃金支出	6,558,000	6,093,804	464,196
		職員賞与支出	1,628,000	1,379,019	248,981
		法定福利費支出	1,433,000	1,312,097	120,903
		事業費支出	13,221,000	12,766,390	454,610
		消耗器具備品費支出	1,273,000	1,073,386	199,614
		保険料支出	85,000	65,948	19,052
		諸謝金支出	9,342,000	9,326,592	15,408
		旅費交通費支出	112,000	103,378	8,622
		印刷製本費支出	48,000	0	48,000
		通信運搬費支出	107,000	100,428	6,572
		会議費支出	6,000	5,078	922
		業務委託費支出	2,246,000	2,091,580	154,420
		租税公課支出	2,000	0	2,000
		事務費支出	456,000	399,163	56,837
福利厚生費支出	42,000	26,400	15,600		
手数料支出	360,000	319,699	40,301		
賃借料支出	54,000	53,064	936		
事業活動支出計(2)	23,296,000	21,950,473	1,345,527		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	0	0	0		
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	0	0	0		
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
その他の活動支出計(8)	0	0	0		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	0	0	0		
予備費支出(10)	—	—	—		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0		
前期末支払資金残高(12)	0	0	0		
当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0		

■ 公益事業区分

I 総合福祉センター管理運営事業拠点区分

市民の福祉向上と地域福祉活動の推進に寄与するため、自主運営事業を実施するとともに、貸館業務については、施設設備の維持管理に努め、利用者の利便性向上を図りました。

1) 明石市立総合福祉センターの新たな活用に向けた取り組み

総合福祉センター内で行っている事業を知的障がい者、精神障がい者等に参加いただけるようPRしたことで、イベントや各種教室等への参加が増えています。

2) 貸館業務（施設の利用状況）

プール、会議室・多目的体育室及び料理室等の貸館業務を行いました。

利用回数	6,648回
利用者数	69,724名

3) 交流イベントの開催

障がい者（児）とその家族及び高齢者を対象に、利用者同士の交流を目的に「本格中国家庭料理教室」及び「粘土細工教室」を開催しました。

開催日	令和5年7月31日、12月5日
参加者数	29名

4) 各種教室の実施、健康相談業務

① 水中ウォーキング教室

心身機能の維持や転倒予防を目的に、プールでの適切な運動方法の相談・指導を毎月第2木曜日に開催しました。

実施回数	11回
参加者数	164名

② 水中リズム運動

心身機能の維持や回復を目的に、水中での簡単なリズム運動の指導を奇数月の第1木曜日に開催しました。

実施回数	7回
参加者数	67名

③ 入水相談

プールを効果的かつ安全に利用いただくことを目的に、看護師等が身体状況等を聞き取り、入水相談を実施しました。

相談者数	60名
------	-----

④ 太極拳教室

健康維持、増進を目的に太極拳教室を実施しました。

実施回数	6回
参加者数	139名

⑤ 健康相談

利用者を対象に、健康不安の解消を目的に受付窓口や温水プールにおいて看護師が健康相談を行いました。

相談者数	766名
------	------

⑥ 健康教室

障がい者及び高齢者を対象に、健康に対する意識を高めることを目的に健康教室（健康体操、健康相談）として「にこにこ粋・生き健康教室」を開催しました。

実施回数	2回
参加者数	46名

⑦ 障がい者事業所支援事業

障がい者の自立支援を目的に、ロビー等にて障がい者作業所等で製作するパンやクッキー、小物・雑貨等の販売コーナーを設置しました。

販売回数	190回
------	------

5) 施設の維持管理業務

館内すべての照明のLED化、空調機器（ファンコイルユニット）の更新工事等を実施しました。工事の際は工事業者への安全配慮の徹底を促す等、利用者の安全に配慮し事故防止に努め、大きな事故なく運営しました。

日常の設備点検、清掃など適切な維持管理を行うとともに、電気・ガス使用量の節減に取り組みました。

総合福祉センター管理運営事業拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
収入	受託金収入	87,062,000	85,846,943	1,215,057	
	市受託金収入	87,062,000	85,846,943	1,215,057	
	総合福祉センター指定管理業務受託金収入	87,062,000	85,846,943	1,215,057	
	事業収入	35,000	7,500	27,500	
	利用料収入	35,000	7,500	27,500	
	その他の利用料収入	35,000	7,500	27,500	
	その他の収入	135,000	187,070	△ 52,070	
	雑収入	135,000	187,070	△ 52,070	
	雑収入	135,000	187,070	△ 52,070	
	事業活動収入計(1)		87,232,000	86,041,513	1,190,487
事業活動による収支	支出	人件費支出	31,063,000	30,273,895	789,105
		職員給料支出	15,718,000	15,420,763	297,237
		職員給料支出	3,713,000	3,617,216	95,784
		嘱託職員給料支出	2,853,000	2,700,795	152,205
		契約職員賃金支出	9,152,000	9,102,752	49,248
		職員賞与支出	4,179,000	4,170,125	8,875
		非常勤職員給与支出	7,764,000	7,545,760	218,240
		法定福利費支出	3,402,000	3,137,247	264,753
		事業費支出	55,242,000	54,765,259	476,741
		水道光熱費支出	14,214,000	14,213,547	453
		消耗器具備品費支出	1,655,000	1,453,968	201,032
		保険料支出	220,000	212,610	7,390
		賃借料支出	1,038,000	1,037,360	640
		諸謝金支出	225,000	193,200	31,800
		印刷製本費支出	96,000	0	96,000
		修繕費支出	5,182,000	5,035,804	146,196
		通信運搬費支出	368,000	362,058	5,942
		会議費支出	6,000	5,077	923
		広報費支出	316,000	315,700	300
		業務委託費支出	26,189,000	26,211,960	△ 22,960
		保守料支出	546,000	541,200	4,800
		租税公課支出	5,187,000	5,182,775	4,225
		事務費支出	927,000	807,789	119,211
		福利厚生費支出	82,000	52,580	29,420
		旅費交通費支出	13,000	12,200	800
		研修研究費支出	25,000	0	25,000
		通信運搬費支出	22,000	21,486	514
		手数料支出	84,000	69,135	14,865
		賃借料支出	701,000	652,388	48,612
		事業活動支出計(2)		87,232,000	85,846,943
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		0	194,570	△ 194,570	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0	0	0	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
事業区分間繰入金支出	0	194,570	△ 194,570		
その他の活動支出計(8)	0	194,570	△ 194,570		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		0	△ 194,570	194,570	
予備費支出(10)		—	—	—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)		0	0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

II 総合福祉センター新館管理運営事業拠点区分

共生の社会づくりの推進に寄与するため、誰もが参加しやすいようバリアフリーに配慮した事業を実施するとともに、貸館業務については、適切な施設設備の維持管理を行い、ギャラリーの開設や玄関前掲示板を設置する等、利用者の拡充と利便性の向上に努めました。

1) ユニバーサルスポーツの普及啓発

スポーツ等を通じた共生社会の理解促進を目的に1階多目的ホール、屋外多目的広場、ギャラリーを活用し、広く一般利用していただく他、誰もが参加できるスポーツの体験、教室を実施しました。

① スポーツ体験

随時開催（開館時）

（車いす卓球、車いすバスケ、卓球、卓球バレー、ボッチャ、フライングディスク、風船バレー、サウンドテーブルテニス、ブラインドサッカー、ストラックアウト、ラダーゲッター、モルック）

利用者数	6,836名
------	--------

② スポーツ教室

毎月第1～第4木曜日開催

教室名	参加者数
ボッチャ教室	207名
卓球バレー教室	181名
スポーツインストラクターの 気まぐれ教室	340名

毎月第1、第3金曜日開催

教室名	参加者数
ストレッチ& ACEボール教室	329名

毎月第3土曜日

教室名	参加者数
ウォーキング教室	190名

③ レクリエーション

随時

利用者数	209名
------	------

④ ギャラリーの開設

2階廊下及び交流スペースを活用し、障がい者等の作品を展示するギャラリーを運営しました。

展示回数 (概ね1か月ごと)	9回
-------------------	----

2) 障がい者就労支援カフェの運営

障がい者の社会参画による共生社会の理解促進を目的に2階交流スペースにて「軽食・喫茶なかま」を運営しました。

・軽食・喫茶なかま

営業日数	241日
利用者数	7,935名

3) みんな食堂

子ども、障がい者、高齢者等を含めた全ての市民を対象に「食」を通じて気づきと支え合いを育む「みんな食堂」を月2回実施し、近隣の小学校、まちづくり協議会を通しての定期的な広報活動を行いました。

実施回数	24回
参加者数	335名

総合福祉センター新館管理運営事業拠点区分 資金収支計算書
(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
収入	受託金収入	25,000,000	24,548,560	451,440	
	市受託金収入	25,000,000	24,548,560	451,440	
	その他の受託金収入	25,000,000	24,548,560	451,440	
	その他の収入	0	16,500	△ 16,500	
	雑収入	0	16,500	△ 16,500	
	雑収入	0	16,500	△ 16,500	
	事業活動収入計(1)	25,000,000	24,565,060	434,940	
事業活動による収支	支出	人件費支出	3,305,000	3,277,602	27,398
		職員給料支出	2,282,000	2,279,745	2,255
		契約職員賃金支出	2,282,000	2,279,745	2,255
		職員賞与支出	540,000	537,932	2,068
		法定福利費支出	483,000	459,925	23,075
		事業費支出	21,637,000	21,235,318	401,682
		水道光熱費支出	1,564,000	1,563,451	549
		消耗器具備品費支出	1,018,000	880,790	137,210
		保険料支出	20,000	19,250	750
		賃借料支出	66,000	66,000	0
		諸謝金支出	7,000	0	7,000
		旅費交通費支出	10,000	4,780	5,220
		印刷製本費支出	22,000	9,078	12,922
		修繕費支出	150,000	121,104	28,896
		通信運搬費支出	514,000	319,327	194,673
		会議費支出	4,000	0	4,000
		広報費支出	120,000	119,900	100
		業務委託費支出	16,614,000	16,603,877	10,123
		租税公課支出	1,528,000	1,527,761	239
		事務費支出	58,000	35,640	22,360
		福利厚生費支出	11,000	8,800	2,200
		旅費交通費支出	12,000	0	12,000
		研修研究費支出	8,000	0	8,000
手数料支出	27,000	26,840	160		
事業活動支出計(2)	25,000,000	24,548,560	451,440		
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		0	16,500	△ 16,500	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)	0	0	0	
	支出				
施設整備等支出計(5)	0	0	0		
施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		0	0	0	
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)	0	0	0	
	支出				
事業区分間繰入金支出	0	16,500	△ 16,500		
その他の活動支出計(8)	0	16,500	△ 16,500		
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		0	△ 16,500	16,500	
予備費支出(10)		—	—	—	
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)		0	0	0	
前期末支払資金残高(12)		0	0	0	
当期末支払資金残高(11)+(12)		0	0	0	

Ⅲ 地域総合支援センター事業拠点区分

地域共生社会の実現に向け、市内6か所の地域総合支援センターに、保健師または看護師、主任介護支援専門員、社会福祉士及び生活支援コーディネーターを配置し、高齢者だけでなく、障がい者、子どもを含む様々な支援を必要とする人とその家族に対して、総合的・包括的な相談対応を行いました。また、令和5年度から明石市で本格実施された重層的支援体制整備事業もあわせて取り組みました。

1 総合相談支援事業

地域住民が住み慣れた地域で生活し続けることができるように様々な相談に対応しました。

相談者数（実人数）	延相談件数
7,234件	41,857件

2 権利擁護事業

判断能力の低下した高齢者や重層的な問題のある高齢者の相談に対応しました。

また、成年後見人等に繋がるまでの金銭管理について対応の統一を図るために緊急一時金銭管理マニュアルを作成しました。対応に苦慮した事例等に関してセンター内部・高齢者総合支援室と事例検討会を開催しました。

成年後見制度活用	高齢者虐待対応	金銭問題・消費者被害等
2,928件	3,735件	3,363件

(延件数)

内 容	目 的	回 数
センター職員のみで事例検討会を開催	高齢者虐待対応力の向上を図る。 (アセスメントの視点、高齢者虐待対応マニュアルの理解等)	3回
高齢者総合支援室とセンター職員で事例検討会を開催	事例検討を通し、高齢者総合支援室とセンター職員が顔の見える関係作りを行う。	2回

3 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

地域の介護支援専門員が包括的・継続的ケアマネジメントを実施できるよう、介護支援専門員からの相談対応や、介護支援専門員間のネットワークづくり、介護支援専門員と関係機関との連携を支援し、専門職としての役割と価値倫理を再認識するために意見交換会を実施し、専門性の向上に向けて取り組みました。

また、地域の介護支援専門員からの個別相談の助言等の実施や、相談しやすい関係づくり等を目的に居宅介護支援事業所等に巡回訪問しました。

取り組みの種類	手 段	回 数
情報交換会（交流会）	オンライン型	2回
	参集型	16回
事例検討会	オンライン型	0回
	参集型	11回
事例検討会の振り返りの会	参集型	2回
学習会	オンライン型	3回
	参集型	13回
意見交換会（市域）	オンライン型	0回
	参集型	2回

4 地域連携推進事業

1) 在宅医療・介護連携専門部会の開催

専門部会を開催し、身寄りのない人等が人生の最期に受けてみたい医療や介護等について考えるきっかけとして、市民自身がもしもの時の備えができるようチェックシートを作成しました。

区 分	概 要	開 催 回 数
専門部会	合意形成・意思決定	2回
ワーキング	課題解決に向け計画に沿った取り組みの実践	5回
運営会議	ワーキング等取り組みの運営や方向性等の検討	2回

5 生活支援体制整備事業

地域の高齢者のニーズや社会資源の状況から、住民とともに課題を抽出し、その解決のために、新たな資源開発や、地域にある企業や団体等が特性を活かした連携を行えるよう、必要な働きかけや支援を地域・市域で実施しました。

1) 第1層生活支援コーディネーターの取り組み（市域エリア）

第2層生活支援コーディネーターに対して、業務の推進における相談対応、助言を行いました。また、地域福祉の推進を行える人材としての資質向上に努めました。

2) 第2層生活支援コーディネーターの取り組み（地域エリア）

日常生活圏域における集いや福祉活動の担い手と信頼関係を構築し、専門職との連携による支援や情報提供を行い、介護予防を目的とした活動を地域で展開しました。また、生活課題や生きづらさがある人の生活支援についてフォーマル、インフォーマルを問わないサポート体制を、その人に合わせて構築しました。

3) 就労的活動支援の取り組み

高齢者の生きがいづくり・就労的活動、有償・無償の福祉的活動に参画する人材育成のため、市内の社会福祉法人と協力し、救命講習も含め生活援助訪問型サービス従事者養成研修を10～11月に4回実施し5名が受講されました。

4) 社会福祉法人と協働したボランティア養成講座の開催

福祉施設等でのニーズについてヒアリングを実施し、福祉人材の不足によって入居者、利用者の生きがいに資する支援や、地域での活動に社会福祉法人が参画するなどの展開が求められているといった課題があることがわかりました。このような課題を解決するため、施設入居者、利用者が地域との関わりをもつ時に寄り添えるボランティア講座を9月22日（12名）、3月8日（16名）に開催しました。1回目の受講者から4名が実際のボランティア活動につながりました。

6 認知症総合支援事業

早期の相談や予防の重要性について周知するとともに、認知症相談窓口において本人や家族等からの相談対応、社会資源や支援機関の情報提供等を窓口又は訪問による面談及び電話対応で行いました。

また、認知症の正しい理解の啓発のため、オレンジサポーター養成講座の実施や若年性認知症の家族会のサポートを行うとともに、男性介護者が孤立しないよう「男性介護者のかたり場」を開催しました。

【相談件数】

初回相談	継続相談	総件数	初期集中支援導入
520件	10,168件	10,688件	5件

【相談方法の内訳】

電話相談	来所相談	訪問相談	その他
7,954件	891件	1,454件	389件

【オレンジサポーター養成講座実施件数】

開催数	養成人数
59回	2,065人

7 在宅医療・介護連携推進事業

地域の在宅医療と介護連携を支援するため、地域総合支援センター本部に相談窓口を設置し、医療や介護の専門職からの相談対応を行いました。

内 訳					相談総数
日常の療養生活の支援	急変時の対応	看取り支援	入退院支援	その他	
10件	1件	0件	3件	3件	17件

8 共助の基盤づくり事業

地域の高齢者が主体的に担い手となって取り組む支え合い活動を支援するとともに、その担い手なる活動者の養成を行いました。また、社会福祉法人と協働し中間就労の場づくりを実施しました。

1) はじめての地域活動講座の開催

地域での福祉活動等を推進する福祉人材の不足から、ボランティア団体をはじめ小地域福祉活動の担い手の育成として、「はじめての地域活動講座」を市域と地域で開催しました。また、受講者同士のモチベーション向上、仲間づくりにつながるよう「はじめての地域活動交流会」を開催しました。

場 所	日 付	参加人数
アスピア明石	4月20日、5月11日、5月25日	28名 (当会ボランティアに 22名登録)
大久保市民 センター	4月27日、5月18日、6月1日	
大久保北 コミセン	2月3日	11名 (地域活動に2名参加)

2) 就労の場づくり

「介護に興味がある」「人の役に立ちたい」と思いつつも報酬がプレッシャーになり一歩踏み出しにくく社会との接点が途切れている方と、洗車や大浴槽の清掃等作業に関するニーズがある社会福祉施設について、中間就労としての福祉活動ニーズと福祉施設等のニーズのマッチングを1件行いました。

9 多機関の協働による包括的支援体制構築業務

生活のしづらさを抱えた人や複合的な問題を抱える世帯などの相談を受け、「たらい回し」といった事態が生じないよう、包括的に受け止める総合的な相談支援体制を構築するため、多機関協働事業として検討すべき事例を多機関協働事業者である地域総合支援センター本部で受け付け、事例の整理や各機関の役割分担、支援方針等について話し合い、継続的な支援を行いました。

また、8月には包括的支援事業者と顔の見える関係作りに繋げるため多機関協働ネットワーク会議を開催しました。

<受理会議> <評価会議> <支援件数（令和6年3月時点）>
 3回 11回 世帯数 7件

上記の国基準による多機関協働事業以外に、地域総合支援センターでは福祉
 まるごと相談窓口として、複合的な課題を抱える世帯への支援をアウトリーチ
 等実施しながら6センターで延べ1万件を超えて行っています。

10 介護予防支援・介護予防ケアマネジメント事業

担当地区内の要支援1・2認定者や生活機能の低下している高齢者を対象に、身
 体機能の強化等により、介護状態となることへの予防を目的に、介護予防ケアプ
 ランの作成・評価を実施しました。また、法令遵守の徹底やケアマネジメント実践力
 の向上に向けて、法令に対応した業務のポイントに関する職員研修や自己点検シ
 ートの導入、本会内部でのケアプランの点検を行いました。

1) 介護予防支援件数（令和5年4月～令和6年3月）

包括担当 給付件数	内 訳		一部委託 給付件数	内 訳	
	初 回	継 続		初 回	継 続
12,934件	318件	12,616件	25,420件	584件	24,836件

2) 介護予防ケアマネジメント（令和5年4月～令和6年3月）

包括担当 給付件数	内 訳		一部委託 給付件数	内 訳	
	初 回	継 続		初 回	継 続
6,742件	244件	6,498件	11,046件	369件	10,677件

地域総合支援センター事業拠点区分 資金収支計算書

(自)令和 5年 4月 1日(至)令和 6年 3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	
収入	介護保険事業収入	651,122,000	590,896,197	60,225,803	
	居宅介護支援介護料収入	120,000,000	123,535,370	△ 3,535,370	
	介護予防支援介護料収入	120,000,000	123,535,370	△ 3,535,370	
	その他の事業収入	531,122,000	467,360,827	63,761,173	
	受託事業収入	531,100,000	467,292,627	63,807,373	
	その他の事業収入	22,000	68,200	△ 46,200	
	受取利息配当金収入	1,000	0	1,000	
	その他の収入	10,000	296,242	△ 286,242	
	雑収入	10,000	296,242	△ 286,242	
	雑収入	10,000	296,242	△ 286,242	
	事業活動収入計(1)		651,133,000	591,192,439	59,940,561
	事業活動による収支	支出	人件費支出	610,356,000	557,524,719
職員給料支出			383,321,000	352,459,880	30,861,120
職員給料支出			265,676,000	238,003,960	27,672,040
嘱託職員給料支出			9,509,000	7,208,838	2,300,162
契約職員賃金支出			102,049,000	101,309,413	739,587
給与負担金支出			6,087,000	5,937,669	149,331
職員賞与支出			115,649,000	109,336,553	6,312,447
非常勤職員給与支出			1,920,000	954,440	965,560
退職給付支出			22,901,000	20,200,697	2,700,303
法定福利費支出			86,565,000	74,573,149	11,991,851
事業費支出			21,073,000	18,579,606	2,493,394
車輜費支出			2,720,000	2,717,400	2,600
諸謝金支出		349,000	283,508	65,492	
旅費交通費支出		911,000	800,820	110,180	
印刷製本費支出		484,000	397,438	86,562	
通信運搬費支出		7,648,000	6,470,019	1,177,981	
会議費支出		127,000	123,527	3,473	
業務委託費支出		8,764,000	7,786,894	977,106	
手数料支出		70,000	0	70,000	
事務費支出		25,507,000	21,391,794	4,115,206	
福利厚生費支出		1,253,000	994,070	258,930	
職員被服費支出		90,000	86,614	3,386	
旅費交通費支出		319,000	90,770	228,230	
研修研究費支出		949,000	744,140	204,860	
事務消耗品費支出		5,967,000	4,809,087	1,157,913	
水道光熱費支出		2,024,000	1,208,186	815,814	
修繕費支出		140,000	110,528	29,472	
通信運搬費支出		10,000	600	9,400	
手数料支出		1,096,000	825,529	270,471	
保険料支出	1,884,000	1,841,222	42,778		

		賃借料支出	10,318,000	9,310,952	1,007,048
		租税公課支出	1,425,000	1,338,096	86,904
		諸会費支出	32,000	32,000	0
		事業活動支出計(2)	656,936,000	597,496,119	59,439,881
		事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△ 5,803,000	△ 6,303,680	500,680
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	0	29,000	△ 29,000
		車輛運搬具売却収入	0	29,000	△ 29,000
		施設整備等収入計(4)		29,000	△ 29,000
	支出	固定資産取得支出	2,570,000	2,163,452	406,548
		車輛運搬具取得支出	2,570,000	2,163,452	406,548
		固定資産除却・廃棄支出	39,000	38,500	500
		器具及び備品除却・廃棄支出	39,000	38,500	500
ファイナンス・リース債務の返済支出		1,260,000	1,211,760	48,240	
施設整備等支出計(5)	3,869,000	3,413,712	455,288		
		施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 3,869,000	△ 3,384,712	△ 484,288
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	20,201,000	20,200,697	303
		退職給付引当資産取崩収入	20,201,000	20,200,697	303
		その他の活動収入計(7)	20,201,000	20,200,697	303
	支出	積立資産支出	10,500,000	10,499,205	795
		退職給付引当資産支出	10,500,000	10,499,205	795
		事業区分間繰入金支出	9,000	0	9,000
		その他の活動による支出	20,000	13,100	6,900
差入保証金支出		20,000	13,100	6,900	
その他の活動支出計(8)	10,529,000	10,512,305	16,695		
		その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	9,672,000	9,688,392	△ 16,392
		予備費支出(10)	—	—	—
		当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	0	0	0
		前期末支払資金残高(12)	0	0	0
		当期末支払資金残高(11)+(12)	0	0	0

